

日本学術会議 2011 年 9 月 13 日

大学教育の分野別質保証推進委員会
法学分野の参照基準件検討分科会（第 2 回）

大学教育の大衆化に対応した法学教育について

桐蔭横浜大学 河合幹雄

法学士とは何を学んだのか 法学の真髄は何か
大衆化への対応 目的・グローバル化（世界標準）

用語整理

大学院 : 法科大学院法曹養成 法学者養成
大学 : 一般教養の法学 法学部での教育を法学教育
小中高校 : 法教育

方針

現実の下位校に対応するのではなく中位校＝大規模校
本当に酷い大学は法学士を出さないべき

エリート校	官僚・上級公務員 会社経営者 研究者
法科大学院既習コース	法曹三者
上位校	大企業ホワイトカラー 自治体職員
中位校	中小企業 自営業（不動産・貿易） 公務員
下位校	非正規雇用 派遣
高卒	ブルーカラー 農林水産業 自営業 特別な職種

現状認識 一橋・国学院・桐蔭横浜大学で教えて

- 体系的法律学理解は断念すべき わかりやすい事例からはいる 網羅することも断念
抽象的思考力の不足
- 一般的な知識不足
学校の勉強ができない以上に世の中のことを知らない。
三大新聞社 平均的サラリーマンの年収 ユーロ理解 政党の名前 世界史・日本史
- 憲法・民法・刑法は旗印たりえる。
法学、政治学、経済学を薄く広く学んだほうがよい。会社員コース
社会学、心理学なども加えて文系人間造り
法学士は、法律を重点的に学んだレベル 一般教養が半分
- 学習意欲がない 入試戦線の敗者ではなく人生において戦ったことがない者
進学率 5 割だが上位 5 割が入学するのではなく、下位層が進学
大学で学ぶ意義がわからない 学歴以外
おもしろくない
役に立つと感じられない。自分の人生に関係していると思えない。
- 同じように学力が低いのではない
何らかの欠点があるタイプが多く、まとめて補講できない。早くて不正確か、遅すぎ

英語力のばらつきが凄まじい。入試科目とAOの問題 入学時にテストでクラス分け

- ・ 精神的あるいは健康上の問題をかかえる生徒
 - 発達障害 神経症 不登校 いじめ
 - 事故や病気で年次が遅れている 家族に問題がある
- ・ 多様な学生
 - 人種・国籍
 - 運動部学生 ジミ男、チャラ男
 - 特別に秀でた能力のあるもの

何を教えるか

法律学上興味深いことではなく日本社会で最もよくある事例 トラブル予防法学

- ・ 法システムの利用者として一人前にする。
 - 不動産売買の仕方 離婚・相続の具体例 交通事故の処理 消費者教育
 - ハウツー本にプラスアルファ 善意悪意 和解＝日本社会の理解
- ・ 人を使える人（会社員）の養成
 - 労働条件 職場のルール造り（店長クラス）
 - ゼミ単位の学習 クラブ・サークル活動
- ・ グローバル化に対応できる人材
 - 外国法（中国・インドを含む） 法律英語（中国の大学生並み）
 - インターネット社会への対応 個人情報の管理

どのように教えるか 例示

- ・ 事例を出して、法分野ごとではない説明（刑事、行政、民事、手続、裁判外の解決）
- ・ リメディアル教育はカリキュラムとして特別にやらない。
- ・ 勉強意欲のあるものだけを集めた授業 特進クラス
- ・ 松川事件、死刑冤罪事件の歴史抜きに刑法を教えない。
- ・ 司法制度の理解、活用仕方（法律相談・弁護士選び）
 - 最高裁判事は誰か 警察官とは誰か 刑務所とはどんなところか
- ・ 日本の現実は違うことに言及しつつ欧米流の法学を教える。（司法制度内部の違い）

キャッチフレーズ

規則を遵守できる人間から、
正しい権利実現・権利主張ができる、自己及び他人の権利を守れる人間造りへ。

（言われたことができる人間から、自分で何をすべきか考えることができる人間へ）
知識を詰め込める人間から、問題探索ができる人間へ

参照基準のどこに入れるか

1 法学の定義

学問とは難解 万人が法について理解しなければならない要請 ルール理解
多くの社会構成員が、法学を知っていることに意義がある。
立法・法改正可能 研究対象を自分たち（研究者）で改変できる。

2 法学に固有の特性

社会に大きな影響を与える事件・判例の重要性
研究者と実務家の互換性が高い（医学部・工学部に次ぐ）
法学の役割 日本社会を法治国家へ 日本の伝統と西洋から来た法制度の桎梏
司法改革との関連 法化

3-1 法学を学ぶことによって獲得すべき基本的知識と理解

進路別書き分ける 研究者 法曹 行政官僚 大企業
警察等の公務員 企業正社員

3-2 法学を学ぶことによって獲得すべき基本的能力

生活実践のなかでの司法サービスの利用
国際人としての教養 国際共通語としての英語 アジアも含めた外国法の実態
市民として 泣き寝入りしない
エリートとして 上位校向け

4 学習方法及び学習成果の評価方法

進路別書き分ける 上位校
中下位校

講義が多くならざるを得ないが、ゼミの重視、
資格試験の単位認定（要注意：法学検定に限らず）インセンティブを与えるため
英語は能力別クラスで、上位は法律英語
勉強方法を指導する。ノートのとり方、図書館の使い方、から判例の調べ方まで

「警察官の教養等に関する世論調査」（昭和 33 年 3 月）内閣府世論調査

Q 3 あなたの感じでは、この頃の警察官は大体、常識や教養があると思いますか、それとも常識や教養のない警察官が少なくないと思いますか。

- (51) 大体常識や教養がある。
- (10) 常識や教養のない警察官が少なくない
- (24) わからない

社会福祉士 精神保健福祉士 (介護福祉士) 国家試験
平成 20 年まで 法学があったが消滅 社会学に法システム